

『超生産性向上大賞』最終選考会 運営マニュアル

＜本事業の概要＞

第4次産業革命時代を迎えつつある今日では、AIやIoT・ビッグデータを駆使した設備投資により、労働者一人当たりの生産性が飛躍的に向上することが見込まれています。また、新たな産業の誕生やそれに伴う新たな雇用及び失業も予想され始めています。私達、青年会議所メンバーは、この時代の流れに目を逸らすことなく真正面から詳細な研究を図り、国の歩みの力となるべく時代に先駆けた取り組みを提案し、新産業・新商品・新サービス開発に繋げていくべきであると考えます。

そこで、本事業において『超生産性向上大賞』を開催し、産・官・学が一丸となり夢を描き行動する意欲と未来へ向けた新技術への投資意欲を醸成するために、すべての事業者・自治体・大学を対象に、新たな技術開発によるビジネスモデルや、設備投資による生産性向上の事例などを募集します。

その中から革新的な事例を表彰し、広く発信することで、ビジネスモデルの実現や先進事例の水平展開の推進を図り、新産業・新商品・新サービス研究への意欲と未来へ向けた新技術への投資意欲を醸成します。

＜募集概要と表彰内容＞

募集するテーマは以下の2つです。

1. 【ビジネスモデル部門】新技術を駆使した革新的な発想でこれからの創業に期待が持てる事例
2. 【生産性向上部門】新技術などの投資を行い、生産性向上に大きな成果を上げている事例

これから実施される研究・構想段階のモデルは【ビジネスモデル部門】、すでに実施されているモデルは【生産性向上部門】に分かれます。

応募されたビジネスモデル（以下、モデル）の中から、有識者等による一次選考、二次選考、最終選考を経て、以下の賞を決定します。

1. 【ビジネスモデル部門】グランプリ：『内閣総理大臣賞』
新技術を駆使した革新的な発想でこれからの創業に最も期待が持てる事例
2. 【生産性向上（アニマルスピリット）部門】グランプリ：『内閣総理大臣賞』
新技術などの投資を行い、生産性向上に最も成果を上げている人

また、特別賞として以下の賞を授与します。

『経済産業大臣賞』（該当者なしの場合もあり）

『日本青年会議所会頭賞』（賞金100万円）…誰もが夢を描ける日本への回帰に繋がるモデル（会頭より選定）

＜選考方法＞

二次選考を通過した各部門上位3モデルずつについては、最終選考で対象者・対象LOMからのプレゼンテーションを行うこととします。

プレゼンテーション実施後に、一次、二次選考同様に、評価のポイントごとに5段階の採点と選考委員協議を経て、【ビジネスモデル部門】と【生産性向上部門】のグランプリ受賞モデルを1つ決定します。残りの各2モデルは準グランプリとします。

優秀賞を含む二次選考を通過した10モデルのうち、誰もが夢を描ける日本への回帰に繋がるモデルを特別賞（『経済産業大臣賞・日本青年会議所会頭賞』）として表彰します。選考委員は、青木会頭と有識者2名の合計3名で行います。

■評価のポイント

【ビジネスモデル部門】

- ・独創性（新産業革命時代の代名詞として相応しいか）
- ・革命性（新技術を駆使した生産性の向上につながるか）
- ・将来性（モデル自体に収益性があり経済的継続性があるか／地域産業の発展・創出につながるか）
- ・地域性（地域の課題解決につながるか）
- ・連携性（産官学金労言・各種団体との連携があるか）

【生産性向上部門】

- ・革命性（新技術を駆使した生産性の向上につながるか）
- ・将来性（モデル自体に収益性があり経済的継続性があるか）
- ・連携性（産官学金労言・各種団体との連携があるか）

＜チェックリスト＞

- ・実施日時（7月22日予定）
- ・実施会場
- ・会場でプロジェクター、スクリーンは借用可能か
- ・電源借用は可能か
- ・写真撮影は可能か

- ・応募者名は伏せる？伏せない？
- ・点数が同点の場合や評価が拮抗した場合はどうするのか？最終的な決定者は？
- ・その他